

大人
の
教養
BOOK

ドントテルミー荒井 著

ブックデザイン クロスメディア・パブリッシング

イラスト クロスメディア・パブリッシング

DTP・図版 石澤義裕

写真

iStock 神道：MasaoTaira 青ヶ島：KKKvintage 鬼怒川温泉：sakai000

写真AC 西成、あいりん地区：源五郎 天理教：ゆる暮らし 池島：kenthewalker

photolibrary 網走監獄：iLand

わかる喜びの旅へ

どうも、ドントテルミー荒井です。

『大人の教養BOOK』を手にとっていただき、ありがとうございます。

最初に少し、僕の昔話をさせてください。

僕は子どもの頃、漠然と「**大人はみんな、世の中のことを何でも知っているんだ**」と思っていました。

テレビでは毎日新しいニュースが流れて、新聞にはあんなに小さな文字がびっしりと詰まっている。「大人はあれを全部読んで、理解しているんだ。だからみんな何も言わず、したり顔でニュース番組を見て、新聞をパラパラとめくっているんだ」そう信じて疑いませんでした。

子どもの頃の僕といえば、テレビはバラエティ番組とアニメしか見ていませんでしたし、毎日家に届く分厚い新聞だって、開くのは決まってテレビ欄と四コマ漫画のページだけ。ニュース番組でキャスターが神妙な顔で喋っている内容なんて、ほとんど何も理解できませんでした。

それでも、20歳を超えてスーツを着れば、自然と頭に入ってくるようになる。大人になるということは、自動的に「**社会の仕組みがインストールされた完全体**」になることだと思い込んでいたのです。

でも、実際に自分がその年齢になってみて、どうでしょう。当然何も勝手にはわかるようにはなっていませんでした。それと同時に、周りの大人たちも、実はよくわかってないまま、難しい顔をして知ったかぶりをしていただけだったということもわかってしまいました。

ニュースを見ても、アナウンサーが喋っている単語の意味がわからない。『**中東情勢の悪化**』『**台湾有事のリスク**』と言われても、なぜ彼らがそこまで争うのか。それが巡り巡って自分の生活にどうかかわってくるのかピンとこない。

私たちは、あんなに学校に通って勉強をしたはずなのに、なぜこうも世界がぼやけて見えてしまうのでしょうか。そして、なぜ多くの大人は、わからないまま「なんとなく」で社会をやり過ごしてしまっているのでしょうか。

その原因は、**僕たちが受けてきた教育が、「面白さ」を置き去りにした「暗記」だったからだ**と僕は思っています。

日本の義務教育では、たくさんの知識を詰め込みます。年号、人名、用語、データ。これらはテストで点数を取るためには必要ですが、根底から理解していなければ単なる記号の羅列です。「1950年代から高度経済成長長期に入った」と暗記することはできません、それだけでは何の意味もありません。

多くの人が勉強を「辛いもの」「面倒なもの」と感じてしまうのは、この記号の暗記を強いられてきたトラウマがあるからです。

だからこそ、**僕がこの本で伝えたいのは、「知ることは、本来、最高のエンターテインメントだ」という事実です。**

知識がない状態で生きる世界は、驚くほど味気なく、退屈です。

例えば旅行に行つて、有名な古いお寺や、巨大な遺跡を見る。知識がないと、出てくる感想は「すごい」「でかい」「綺麗だな」以上。

せつかく地球の裏側まで行つたとしても、目の前の石の塊が「なんかすごいもの」であることしか認識できない。これって、ものすごく、もつたないことだと思いませんか？

でも、そこに「教養」という補助線が入ると、景色は一変します。

なぜこの形なのか。誰が何のために作ったのか。その時代の人々は何を祈つていたのか。背景にあるドラマを知っていれば、ただの石の塊が、数千年の時を超えて語りかけてくる「物語」に変わります。博物館や資料館に並ぶ展示の一つひとつが、まるで映画のように生き生きと見えてくるのです。

知識があるだけで、世界には「面白いもの」が圧倒的に増える。

僕は、人生の豊かさとは、結局のところ、「世の中をどれだけ面白がれるか」にかかっていると思います。

子どもの頃は、単純に「でかい」「綺麗」というだけで、心から感動する

ことができているように思えます。でも、大人になった今、正直なところ、それだけではもう心が満たされなくなつてはいませんか？

逆に言えば、一見なんの見応えもないオンボロの建物や、誰も見向きもしない小さな石ころであっても、そこに「知識」があれば、最高に面白いエンターテイメントに変わるといふことです。世界中のあらゆる場所が、好奇心の対象になつていくわけです。

「常識として知っておくべき」とか、「恥をかかないために」とか、そんな堅苦しいことは一旦置いておいていい。単純に、知っていたほうが人生のお得度が高い。楽しいことが増える。だから、知識を仕入れるんです。

この本は、そんな「わかる喜び」を共有したくて書きました。

僕は普段、YouTubeで教育系の動画を配信していますが、今回あえて「本」という形にまとめたのには理由があります。一冊にまとめることで、歴史や社会のつながりが「立体的」に見えてくるのです。

動画は一本一本が完結していますが、本として一冊にまとめられると、別々の

章で語られている出来事が、実は底の方でつながっていることに気づきます。

例えば、「エネルギー革命」や「高度経済成長」「バブル崩壊」、といった言葉。これらは日本の歴史だけでなく、中東の歴史や、ヨーロッパの情勢を語る上でも頻繁に登場します。「あ、ここでもこの言葉が出てきた!」「日本のこの出来事は、世界のこの動きとリンクしていたのか!」読み進めるうちに、**点と点がつながり、歴史という巨大な奔流が立体的に浮かび上がってくるはず**です。この感覚こそ、断片的な「知識」が、使える「教養」へと変わる瞬間です。

本来、勉強とは楽しいものです。

脳科学的にも、これまでわからなかったことが「あ、そうだったのか!」「わかった!」とつながった瞬間、脳内ではドーパミンという快樂物質が分泌される**ことが知られています**。この快感は、一度味わうと病みつきになります。脳が「わかった!」の快樂を覚えると、次も学びたい! という意欲が湧き、勉強の正のループが回り始めるのです。

僕は、みなさんにその「わかる喜び」を少しでも味わってもらいたい。そして、

あなたの人生を今よりほんの少しでも面白くする、その手助けがしたいのです。

昨今、時代の流れは加速度的に早くなっています。

SNSやAIなどの最新テクノロジーで情報が溢れかえり、昨日までの常識が明日には通用しなくなるような、激動の時代です。

そんな時代だからこそ、あえて立ち止まり、「日本とは?」「世界とは?」「人間とは?」という本質的な問いに立ち返る必要があります。

いかにテクノロジーが進化しようとも、百年前の歴史を作ってきたのが人間であるように、百年後の未来を作るのもまた人間です。人間の本質を知る「教養」は、どんなに激しい時代をも生き抜くための、強力な武器になります。

……なんて、少し真面目なことも言ってみました。もっと気楽に構えていただけでも大丈夫です。

「なんか面白そうだから読んでみるか」「知ったかぶりを卒業して、子どもに聞かれた時にちゃんと答えたいな」そんな動機で十分です。

この本は、これから世界をもっと面白がりたい全ての人へ贈る、「わかる喜び

の旅」へのガイドブックです。学校の教科書のような退屈な話はしません。僕がユーチューブで話しているように、隣で語りかけるようなつもりで書きました。

ページをめくる準備はいいでしょうか。

知れば知るほど、世界は鮮やかに、そして面白くなります。

さあ、わかる喜びの旅に出かけましょう。

目次
大人の
教養
B
O
O
K

1

CHAPTER

プロローグ わかる喜びの旅へ…………… 3

高度経済成長期・バブル期編

- 001 黒部ダム 戦後日本復興を支えた昭和の情熱…………… 20
- 002 夕張市 日本で唯一「財政破綻」した街の教訓…………… 30
- 003 池島 炭鉱の島が辿った栄光と衰退…………… 40
- 004 湯沢町 豪雪地帯の山奥にそびえ立つ10万円マンション群…………… 50
- 005 鬼怒川温泉 廃墟と化した崖っぷち巨大ホテル群…………… 60
- 006 沢田マンション 法律よりも人間優先。日本最大の違法建築物…………… 70

CHAPTER 2

離島編

大人の教養TV—小さな事件簿①—フランス泥棒事件……………80

007 姫島 61年間選挙なし。日本の北朝鮮と呼ばれる島……………82

008 長島 ハンセン病隔離の島。100年間封印された日本の闇……………92

009 青ヶ島 日本一上陸困難な島に広がる絶景と異文化……………102

010 情島 奴隸島と呼ばれた瀬戸内の漁村の黒歴史……………112

011 大久野島 かつて地図から消された毒ガスの島……………122

012 沖島 日本で唯一「湖の上」にある有人島……………132

CHAPTER 3

013 小笠原諸島

24時間の船旅でしか行けない絶海の孤島……

大人の教養TV—小さな事件簿②—タオルがガビガビ事件……

152

142

デイープスポット編

014 歌舞伎町

日本一の歓楽街は、なぜ闇の街になったのか……

154

015 吉原遊廓

江戸時代から400年続く日本最大の色街……

164

016 飛田新地

「料亭」という建前で生き残る日本最後の遊廓……

174

017 西成・あいりん地区

日本一のドヤ街に潜入して見えた光と闇……

184

018 渡鹿野島

かつて「売春島」と呼ばれた島……

194

CHAPTER 4

事件・事故編

019 山谷 東京のど真ん中にある静かなドヤ街……………204

020 パチンコの闇 なぜ日本中で堂々と営業しているのか……………214

大人の教養TV—小さな事件簿③— KETA 忘れて飛行機ロスト事件……………224

021 津山三十人殺し 一夜にして30人を惨殺した青年の孤独と狂気……………226

022 日航機123便墜落事故
御巢鷹山に眠る520人の命と、数多くの陰謀論……………236

023 三億円事件 昭和最大のミステリー。鮮やかすぎる犯行と警察の闇……………246

024 あさま山荘事件 鉄球が砕いた革命の幻想……………256

CHAPTER 5

世界の宗教編

- 025 成田空港問題 滑走路のど真ん中にボツンと残る一軒家…… 266
- 026 三毛別ヒグマ事件 7人が食い殺された日本史上最悪の獣害…… 276
- 027 網走監獄 北海道の発展を支えた地獄の刑務所…… 286
- 大人の教養TV—小さな事件簿④—世界一不味い食べ物事件…… 296
- 028 ユダヤ教 選民思想が招いた奇跡の繁栄と、血塗られた迫害の歴史…… 298
- 029 キリスト教 世界最大の宗教が約束する幸せの正体…… 308
- 030 イスラム教 砂漠の商人が始めた16億人を動かす最強のシステム…… 318

CHAPTER 6

日本の宗教編

- 031 仏教** 日本人と不思議な距離感を保つ世界一柔軟な宗教……………328
- 大人の教養TV—小さな事件簿⑤—ヨーロッパ移住、3カ月で頓挫事件……………338
- 032 神道** 日本人の「素朴な祈り」から「国家システム」へ……………340
- 033 古事記** 天皇支配の正当化のために編纂された日本の神話まとめ本……………350
- 034 創価学会** 孤独の受け皿として急拡大した巨大新興宗教……………360
- 035 天理教** 主婦に降りた陽気な神と、国家への服従……………370
- 036 オウム真理教** 日本史上最悪のテロ事件を起こした新興宗教団体……………380

7

CHAPTER

大人の教養TV—小さな事件簿⑥—灼熱イベント帰宅事件……………390

親日国編

037 パラオ 日の丸と対をなす「月章旗」を掲げる世界一の親日国……………392

038 台湾 なぜ世界一日本を愛してくれるのか？ 最良の日本統治時代……………402

039 ポーランド ヨーロッパの親日国。なぜ遠く離れた地で日本が愛されるのか？……………412

040 トルコ 悲劇から始まった絆。海を越え、時代を超えた恩返し歴史……………422

エピソード 「本当の」わかる喜びの旅へ……………432